



# 商業

宮之城屋地・虎居地区を中心に商業エリアが広がっています。また、特産品販売所では町内で生産される農産物・畜産物を販売。地産地消も活発です。

## さつまのささ福かざり



女兒の幸せを願う縁起物として、「さるっこ」などの飾りをつるす「さげもん」のさつま町版。毎年2月に宮之城屋地・虎居商店街で開催されます。

## 百縁祭



年4回開催されます。2月は初市、12月は暮市と同時開催。各店舗では100円の様々な商品が店先に並びます。

Say!!

素敵♥さつま町

ほりのうち りきぞう  
さつま町商工会青年部 堀之内 力三 さん

価格競争や消費行動の多様化などもあって、小売店にとっては厳しい時代です。そんな中だからこそ、専門性を高め、地域の魅力を発掘し、オンリーワンの可能性を追求していかなければなりません。家業である焼酎の販売だけでなく、農業体験（芋づくり）から芋焼酎づくりを体験してもらい活動を行って、好評をいただいています。また、青年部会の活動も盛んです。若い世代と一緒に苦労し、汗を流し、笑いあって絆を深めています。人と人がつながり、魅力と魅力がつながり、新しい可能性が生まれる。点と点が線になり、線はさらに広がって面になり、そして今、その面は日に日に厚みを増してきていると感じています。



# 工業

企業誘致を積極的に行っていて、ものづくりの町でもあります。特に、自動車エンジン用スパークプラグの生産では、世界的に大きなシェアを占めています。

## 倉内工業団地



時吉・湯田地区にまたがり、敷地面積は18万㎡。金属加工製品、精密機械部品、自動車部品などが製造されています。

## 田原工業団地



昭和49年（1974年）より大規模な工場が操業。スパークプラグの生産量は世界一です。

Say!!

素敵♥さつま町

うえむら みゆり  
日本特殊陶業株式会社 社員 植村 美由利 さん

がソリンエンジン用のスパークプラグの製造に携わっています。私は高校で「ものづくり」について学び、卒業後も「ものづくり」をしたいと思います。そんな中で、さつま町には大きな工場があり、そこへ就職することができました。工場ではたくさんの人の知恵や、そこにしかない技術があります。とにかくいろいろなことを「やってみよう」、そして、知恵や技術を受け継ぎたいと思っています。自分の生まれ育った土地でやりたい仕事ができるというのは大切なこと。地域の活性化につながると思います。さつま町は自然豊かな魅力ある場所です。私はここで仕事に打ち込み、暮らし、町を応援し続けます。







# 絶品はぐくむ 生産者の情熱



# 農業

町内には川内川が貫流し、穴川・泊野川・夜星川・海老川・久富木川・前川といった支流も多く、豊富な水が大地を潤し、川に沿って広大な田園風景が広がっています。盆地状の地形で昼夜の寒暖差が大きく、美味しい米・茶の育つ産地として知られています。野菜・果物の栽培も盛んで、生産品目はトマト・カボチャ・タケノコ・イチゴ・ナシ・ブドウ・マンゴー・柑橘類など多彩です。また、和牛の生産や養豚・養鶏も主要産業のひとつとなっています。さつま町では、農業経営の向上を目指す生産者を支援する「認定農業者制度」、新規就農者をサポートする「認定新規就農者制度」なども設けています。



イチゴ



トマト



## 水稲

鹿児島県内でも有数の米どころ。寒暖差が大きく、美味しい米が育つ条件が揃っています。

## 黒毛和牛

平成29年秋、第11回全国和牛能力共進会宮城大会において鹿児島黒牛が総合優勝。さつま町の牛も優勝に貢献しました。町内では子牛の生産が盛んで、町内の薩摩中央家畜市場の子牛取引価格は、全国上位にランクされています。中でも、種雄牛「安福久」号は名牛として知られ、その血統は、国内の多くの和牛の中に受け継がれています。



## 梅

町の東部には梅園も広がる。平成3年に和歌山県から南高梅の苗木を取り寄せてこの地に植えたのが始まり。大粒で香り高いさつま町の梅は、名品として知られています。平成22年には「薩摩西郷梅」として商標登録。これは永野金山の鉱業館長として地域振興にも尽力した西郷菊次郎に由来します。花満開の2月頃の風景も圧巻です。

## 甘く香る果樹園

さつま町はキンカンなどの果樹栽培も盛んで、高品質の果物が全国へ向けて出荷されています。また、ナシやブドウなど観光農園も多く、もぎたての味を楽しむことができます。



キンカン




ブドウ

**Say!!**  
素敵♡さつま町

きつしょうあん さとし  
トマト農家 吉祥庵 聡 さん

**私**は環境制御によるトマト生産を行っていて、近年ではコンピュータ制御の仕組みも導入しました。品質が上がり、収穫量も増え、経営は安定しています。トマト農家の仲間が集まって情報交換をしたり、環境制御に興味のある若手がいれば話をしたり、と生産者同士のつながりも強いです。寒暖差のある気候は、美味しい農産物を育みます。農業にはとてもいい環境です。さつま町では、畜産業がとても元気のように感じています。野菜のほうも負けてはいられません。畜産業に近づけるように盛り上げていきたい。これからもいいトマトを作ること。当たり前のことですが、このことが地域のために私ができることです。







# 商業

宮之城屋地・虎居地区を中心に商業エリアが広がっています。また、特産品販売所では町内で生産される農産物・畜産物を販売。地産地消も活発です。

## さつまのささ福かざり



女兒の幸せを願う縁起物として、「さるっこ」などの飾りをつるす「さげもん」のさつま町版。毎年2月に宮之城屋地・虎居商店街で開催されます。

## 百縁祭



年4回開催されます。2月は初市、12月は暮市と同時開催。各店舗では100円の様々な商品が店先に並びます。

Say!!

素敵♥さつま町

ほりのうち りきぞう  
さつま町商工会青年部 堀之内 力三 さん

価格競争や消費行動の多様化などもあって、小売店にとっては厳しい時代です。そんな中だからこそ、専門性を高め、地域の魅力を発掘し、オンリーワンの可能性を追求していかなければなりません。家業である焼酎の販売だけでなく、農業体験（芋づくり）から芋焼酎づくりを体験してもらい活動を行って、好評をいただいています。また、青年部会の活動も盛んです。若い世代と一緒に苦労し、汗を流し、笑いあって絆を深めています。人と人がつながり、魅力と魅力がつながり、新しい可能性が生まれる。点と点が線になり、線はさらに広がって面になり、そして今、その面は日に日に厚みを増してきていると感じています。



# 工業

企業誘致を積極的に行っていて、ものづくりの町でもあります。特に、自動車エンジン用スパークプラグの生産では、世界的に大きなシェアを占めています。

## 倉内工業団地



時吉・湯田地区にまたがり、敷地面積は18万㎡。金属加工製品、精密機械部品、自動車部品などが製造されています。

## 田原工業団地



昭和49年（1974年）より大規模な工場が操業。スパークプラグの生産量は世界一です。

Say!!

素敵♥さつま町

うえむら みゆり  
日本特殊陶業株式会社 社員 植村 美由利 さん

ガソリンエンジン用のスパークプラグの製造に携わっています。私は高校で「ものづくり」について学び、卒業後も「ものづくり」をしたいと思っていました。そんな中で、さつま町には大きな工場があり、そこへ就職することができました。工場ではたくさんの人の知恵や、そこにしかない技術があります。とにかくいろいろなことを「やってみよう」、そして、知恵や技術を受け継ぎたいと思っています。自分の生まれ育った土地でやりたい仕事ができるというのは大切なこと。地域の活性化につながると思います。さつま町は自然豊かな魅力ある場所です。私はここで仕事に打ち込み、暮らし、町を応援し続けます。

